

月/日	担当課(室)係名	電話	発表者名	その他資料配布先
1月18日(金)	兵庫県立歴史博物館 事業企画課	079-288-9011	次長 豊田幸雄 (事業企画課長 鈴木敬二)	県教育委員会記者クラブ 中播磨県民センター各報道 機関

## 2月・3月のもよおしのご案内 (2月)

開催日時	イベント	内容	会場	料金	受付期間・受付方法
1月26日(土) ～3月24日(日)	特別企画展 「姫路 今むかし partⅢ」	明治・大正・昭和・平成と続く姫路の今昔の変遷については、「姫路 今むかし」展、「姫路 今むかし partⅡ」展で企画を行いました。古写真を中心とした過去の懐かしい風景との再会は、とりわけ数多くの観覧者の関心を引きおこしました。個々人の大切な記憶と対話しながら、自分史の中での過去と現在の出会いを満喫していただければ幸いです。	ギャラリー	一般500円 大学生350円 高校生以下無料	
2月2日(土) 13:00～16:30	ひょうご歴史研究室シンポジウム 「淡路島の海人と地域間交流 ～5世紀の倭王権・播磨・出雲～」	現在、兵庫県立歴史博物館ひょうご歴史研究室・淡路島日本遺産委員会・島根県古代文化センターは、古墳時代の淡路島と、出雲を含む他地域との交流の歴史について、共同して研究しています。シンポジウムでは、その成果を考古学と文献史学の両面にわたり発表、討議します。	南あわじ市 福良地区 公民館講堂	無料	当日受付 定員250名 先着順
2月2日(土) 14:00～	れきはくロビーコンサート 出演:兵庫県立姫路東高等学校 吹奏楽部	姫路東高等学校吹奏楽部と歴史博物館のコラボレーションで演奏会を行います。大人も子どもも、家族みんなで遊びに来て下さい。	ロビー	無料	
2月3日(日) 14:00～15:30	地域講演会 「高田屋外交—高田屋嘉兵衛 とゴロウニン事件—」 講師:斎藤 智之 氏 (高田屋顕彰館・歴史文化資料館 学芸専門員)	18世紀以降、日本がいよいよ国際社会の荒波に投げ入れられていく過程の中で、隣国ロシアとの度重なる交流史がいかに重要な意味を持ったか、その大きな流れを概観しながら、「ゴロウニン事件」で高田屋嘉兵衛が果たした意義を問い直します。	ホール	300円 友の会会員は無料	当日受付 定員100名 先着順
2月9日(土) ～3月17日(日)	兵庫県政150周年記念展示 「国立公文書館所蔵資料展 —近代日本と兵庫のあゆみ—」	国立公文書館が所蔵する日本の近代史関係の資料等を通して、近代日本と兵庫の成り立ちを紹介します。	兵庫県政 150周年記念 展示室 (歴史工房)	無料	
2月9日(土) 14:00～	兵庫県政150周年記念展示 関連イベント 「国立公文書館所蔵資料展」 展示解説 解説:竹田 俊一 氏 (国立公文書館 公文書専門員)	兵庫県政150周年記念展示「国立公文書館所蔵資料展」の展示解説を行います。	兵庫県政 150周年記念 展示室 (歴史工房)	無料	当日受付
2月10日(日) 11:00～	「姫路 今むかし partⅢ」関連行事 展覧会ガイド ガイド:堀田 浩之(当館学芸員)	特別企画展「姫路 今むかし partⅢ」の担当学芸員が、展示の見どころをたっぷりとお伝えします。	ギャラリー	無料 特別企画展 観覧料が必要	当日受付
2月17日(日) 14:00～15:30	歴史講演会 「中興の君『酒井忠恭』と 刃傷事件」 講師:藤原 龍雄 氏 (播磨学研究所運営委員兼研究員)	酒井忠恭は、酒井家が前橋から姫路へと所替えとなった時の藩主です。酒井家では「中興の君」とされていますが、所替えに当たっては領内・家中に反対する者が少なくありませんでした。ここでは忠恭の業績と人物像に迫りながら所替えに至った背景を推進派と反対派の立場から分析し、川合定恒の刃傷事件の持つ意味を探ります。	ホール	300円 友の会会員は無料	当日受付 定員100名 先着順
2月23日(土) 14:00～	れきはくロビーコンサート 出演:伊藤 和童 大中 湊生	古典尺八師弟と法螺貝皆伝資格者がパフォーマンスを披露します。繊細な尺八の音色と迫力ある法螺貝の螺音をお楽しみ下さい。	ロビー	無料	
2月24日(日) 11:00～	「姫路 今むかし partⅢ」関連行事 展覧会ガイド ガイド:堀田 浩之(当館学芸員)	特別企画展「姫路 今むかし partⅢ」の担当学芸員が、展示の見どころをたっぷりとお伝えします。	ギャラリー	無料 特別企画展 観覧料が必要	当日受付
2月24日(日) 14:00～15:30	れきはくアカデミー 「江戸絵画入門」 講師:山口 奈々絵(当館学芸員)	17～19世紀にわたって花開いた江戸時代の絵画。描かれた作品にはどのような意味が込められ、どのような工夫が凝らされているのでしょうか。江戸時代の絵画史の流れをたどりながら、さまざまな作品を紹介します。	ホール	無料	当日受付 定員100名 先着順
2月24日(日) ①10:00～11:30 ②13:00～14:30	歴はく倶楽部 「おひな様をつくらう」	はまぐりをつかってすてきなおひな様をつくれます。	ロビー	100円	当日受付 受付時間は ①11:30まで②14:30まで 小学校4年生以下のお子様は 保護者同伴 定員午前・午後各25名 先着順



## 2月・3月のもよおしのご案内（3月）

開催日時	イベント	内容	会場	料金	受付期間・受付方法
1月26日(土) ～3月24日(日)	特別企画展 「姫路 今むかし partⅢ」	明治・大正・昭和・平成と続く姫路の今昔の変遷については、「姫路 今むかし」展、「姫路 今むかし partⅡ」展で企画を行いました。古写真を中心とした過去の懐かしい風景との再会は、とりわけ数多くの観覧者の関心を呼びおこしました。個々人の大切な記憶と対話しながら、自分史の中での過去と現在の出会いを満喫していただければ幸いです。	ギャラリー	一般500円 大学生350円 高校生以下無料	
2月9日(土) ～3月17日(日)	兵庫県政150周年記念展示 「国立公文書館所蔵資料展 —近代日本と兵庫のあゆみ—」	国立公文書館が所蔵する日本の近代史関係の資料等を通して、近代日本と兵庫の成り立ちを紹介します。	兵庫県政 150周年記念 展示室 (歴史工房)	無料	
3月2日(土) 14:00～	兵庫県政150周年記念展示 関連イベント 「国立公文書館所蔵資料展」 展示解説 解説:吉原 大志 (当館学芸員)	兵庫県政150周年記念展示「国立公文書館所蔵資料展」の展示解説を行います。	兵庫県政 150周年記念 展示室 (歴史工房)	無料	当日受付
3月3日(日) 13:00～16:30	ひょうご歴史研究室 研究成果発表フォーラム 「ひょうごの鉄生産と流通 ～弥生時代から近代まで～」	兵庫県内の鉄の生産と流通を、日本列島上の問題として、古代から近代の歴史のなかで考えます。大きな話題を呼んだ古代淡路の鍛冶工房跡、刀剣用の素材として知られた干草鉄、そして姫路の新日鉄広畑工場に象徴される近代製鉄業への展開など、「ひょうごの鉄生産と流通」の実態解明に迫ります。	姫路文学館講 堂(北館3階)	無料	当日受付 定員250名 先着順
3月8日(日) 13:00～16:00	歴史の旅 「姫路城内じっくり見て歩き」	これまで気付かなかった姫路城の細部にこだわった見学会です。日頃疑問に思っていることを、じっくり考えていきましょう。	姫路城	入城料金 + 保険料(100円)	事前申込 申込期間は2月8日(金)～2 月22日(金) 定員30名 ※参加者が20名に達しない 場合は開催しません。
3月16日(土) 14:00～	れきはくロビーコンサート 出演:坂本 樹生(バリトン) 丸山 聡美(ピアノ)	新進の演奏者がパフォーマンスを披露します。午後のひととき、素敵な音色を聴きながら過ごしませんか。	ロビー	無料	
3月17日(日) 14:00～15:30	れきはくアカデミー 「城郭史への招待」 講師:堀田 浩之(当館学芸員)	毎回、城郭の歴史や文化に因む新しい視点を紹介しておりますが、今回は、姫路城の話題にも触れます。	ホール	無料	当日受付 定員100名 先着順
3月24日(日) ①10:00～11:30 ②13:00～14:30	歴はく倶楽部 「ペーパークラフト —春待ちうさぎをつくらう—」	紙を素材にして、かわいらしい春待ちうさぎをつくります。	ロビー	100円	当日受付 受付時間は ①11:30まで②14:30まで 小学校4年生以下のお子様は 保護者同伴 定員午前・午後各25名 先着順